

記録すること

下記の「自己評価シート」を活用して、自分の目標、実践、成果と課題を記録してみましょう。
 ビジョンや目標などを書きだすことで、自分のめざすべき方向性が明確になります。また、記録しておくことで、後で実践記録とすることもでき、次への取組みの参考にもなります。
 研修などの資料や自分が作成した教材、指導案などをファイル等にまとめておくことで振り返りや後輩への指導に使うこともできるでしょう。

自己評価シート		名前	記載日 (年)		月	日	月	日	
所属	府立〇〇学校/〇〇市立〇〇学校		教職経験年数					年	
【専門領域】 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 	年度初め・年度末に記入し、成果を確認								
			人権・能力	年度初め	年度末		人権・能力	年度初め	年度末
	I		人権尊重の精神			IV	授業を構想する力		
			危機管理能力			IV	授業を展開する力		
			学び続ける力			IV	授業を評価する力		
	II		課題解決能力			V	子ども理解		
		法令遵守の態度			V	集団づくり			
		事務能力			V	エンパワー			
III		協働する力			VI				
		ネットワークカ			VI				
		マネジメントカ			VI				
② キャリア、校内での役割、高めたい資質・能力など									
『OSAKA教職スタンダード』の第1期から第4期を記入									
③ 中・長期の見通し									
『OSAKA教職スタンダード』の現状より1～2段階上位に到達することを中・長期目標としている。									
④ 今年度の研修目標（短期）						受講予定の研修等			
						上記の目標に合致する研修やセミナーをピックアップ（別途、受講手続きを行う。）			
⑤ 成果と課題、次年度に向けて（年度末に記入）									
上記の中・長期目標から、今年度重点的に取り組むことを取り上げる。									

専門領域について記入

『OSAKA教職スタンダード』の第1期から第4期を記入

『OSAKA教職スタンダード』の現状より1～2段階上位に到達することを中・長期目標としている。

上記の目標に合致する研修やセミナーをピックアップ（別途、受講手続きを行う。）

上記の中・長期目標から、今年度重点的に取り組むことを取り上げる。

記入例 1 : 教職 1 年めの教員

自己評価シート		名前	記載日 (年)	月 日	月 日					
所属	府立〇〇学校/市立〇〇学校		教職経験年数		年					
【専門領域】			年度初め・年度末に記入し、成果を確認							
			資質・能力	年度初め	年度末	資質・能力	年度初め	年度末		
			I	人権尊重の精神	1	2	IV	授業を構想する力	1	2
				危機管理能力	1	1		授業を展開する力	1	2
				学び続ける力	1	3		授業を評価する力	1	1
			II	課題解決能力	1	1	V	子ども理解	1	2
				法令遵守の態度	1	1		集団づくり	1	2
				事務能力	1	1		エンパワー	1	2
			III	協働する力	1	1	VI			
				ネットワーク力	1	1				
				マネジメント力	1	1				
② キャリア、校内での役割、高めたい資質・能力など										
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職 1 年めにあたり、子ども理解を中心に、集団づくり、授業力の向上に努めるとともに分掌や学級経営を行う上で、必要な事務能力に関する知識を得たい。 ・ 支援教育に関する知識を学び、指導に生かしたい。 ・ 授業におけるICT活用に関する知識の習得をめざす。 										
③ 中・長期の見通し			『OSAKA教職スタンダード』の現状より 1～2 段階上位に到達することを中・長期目標としている。							
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 今後 3 年程度で以下の達成をめざす (1) 授業づくりと学習指導 <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究授業を通じて、指導案や授業について助言を得ることで学びを深め授業改善に努める。 ・ ICT活用に関する実践発表を行う。 (2) 学級経営と集団づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な事例を学び、問題事象の未然防止に努める。 ・ 生徒の様々な心情や生活・学習上の困難等に気づくことで、生徒や保護者に寄り添い、支援できる教員をめざす。 (3) 「チーム学校」の一員としての資質・能力の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 組織の一員として、協働できる知識や事務能力を身につけ、自ら課題解決できるようになる。 										
④ 今年度の研修目標（短期）			受講予定の研修等							
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 授業づくりと学習指導 ・ 授業においてルーブリック評価を実施し、授業研究を行う。 ・ 研究授業を行い、様々な助言を得ることで子どもの学びの見とり方を学ぶ。 ・ 研修会に参加し、ICT活用に関する研究を行う。 ・ 「学びのユニバーサルデザイン」について学び、環境整備等を行う。 ・ 支援教育に関する研修会に参加し、支援の方法等について学ぶ。 			<ul style="list-style-type: none"> ・ 初任者研修 ・ □□公開講座（〇月××大学） ・ ○○○研究会 ICT活用プロジェクト夏期講座 							
⑤ 成果と課題、次年度に向けて（年度末に記入）			左記の目標に合致する研修やセミナーをピックアップ（別途、受講手続きを行う。）							
			上記の中・長期目標から、今年度重点的に取り組むことを取り上げる。							

記入例2：教職10年めの教員

自己評価シート		名前			記載日 (年)	月 日	月 日				
所属	府立〇〇学校/市立〇〇学校			教職経験年数		年					
【専門領域】				年度初め・年度末に記入し、成果を確認							
				資質・能力	年度初め	年度末	資質・能力	年度初め	年度末		
				I	人権尊重の精神	2	2	IV	授業を構想する力	2	2
					危機管理能力	2	3		授業を展開する力	2	2
					学び続ける力	3	3		授業を評価する力	3	3
				II	課題解決能力	2	2	V	子ども理解	2	3
					法令遵守の態度	3	3		集団づくり	2	2
					事務能力	2	3		エンパワー	2	2
				III	協働する力	3	3	VI			
					ネットワーク力	2	3				
					マネジメント力	2	3				
② キャリア、校内での役割、高めたい資質・能力など											
<p>教職 10 年めを迎えるにあたり、学習指導、学級経営、そして子どもを理解し、豊かな集団をつくっていくための指導力を高めたい。さらに今年度は同じ学年に初任者や 3 年めの教員も所属していることから、積極的に助言を行い、ともに学びながら、教員間のネットワークを構築することにも力を注ぎたい。</p>											
③ 中・長期の見通し											
◆ 今後 3 年程度で以下の達成をめざす											
(1) 授業づくりと学習指導											
<ul style="list-style-type: none"> 積極的に授業を公開するとともに他の教員の授業構想への助言に努める。 授業研究の取組みを組織的に評価し改善していく体制づくりをめざす。 											
(2) 学級経営と集団づくり											
<ul style="list-style-type: none"> あらゆる場面で子どもの特性に合わせた適切な関わりを、他の教員に示すように努める。 様々な事例を学び、問題事象の未然防止のための提案に努める。 											
(3) 教職員の協働による組織的な学校づくり											
<ul style="list-style-type: none"> 組織の一員として、協働できる知識や事務能力を身につけ、自ら課題解決できるようになる。 校内のメンターチームを活性化し、経験の少ない教員の資質向上に努める。 											
④ 今年度の研修目標（短期）				受講予定の研修等							
◆ 授業づくりと学習指導				<ul style="list-style-type: none"> 10年経験者研修 〇〇研修（△月） □□セミナー（〇月××大学） 							
<ul style="list-style-type: none"> 子どもが主体的に学び、確実に目標に到達するための授業のあり方を追求する。 子どもの学びを見とり、次の授業づくりに生かせるような学習評価の方法を学ぶ。 研究授業や研究協議をする際の、授業参観のポイントのあり方やその分析の仕方について研究する。 				<p>左記の目標に合致する研修やセミナーをピックアップ（別途、受講手続きを行う。）</p>							
⑤ 成果と課題、次年度に向けて（年度末に記入）											
				<p>上記の中・長期目標から、今年度重点的に取り組むことを取り上げる。</p>							

『OSAKA教職スタンダード』の現状より1～2段階上位に到達することを中・長期目標としている。

左記の目標に合致する研修やセミナーをピックアップ（別途、受講手続きを行う。）

上記の中・長期目標から、今年度重点的に取り組むことを取り上げる。

記入例3：支援学校3年めの教員

自己評価シート	名前	記載日 (年)	月 日	月 日				
所属	府立〇〇学校/市立〇〇学校		教職経験年数	年				
【専門領域】 	年度初め・年度末に記入し、成果を確認							
		資質・能力	年度初め	年度末		資質・能力	年度初め	年度末
	I	人権尊重の精神	1	1	IV	授業を構想する力	1	2
		危機管理能力	1	1		授業を展開する力	1	2
		学び続ける力	1	1		授業を評価する力	1	2
	II	課題解決能力	1	1	V	子ども理解	1	2
		法令遵守の態度	2	2		集団づくり	1	1
		事務能力	2	2		エンパワー	2	2
	III	協働する力	2	2	VI	ネットワークの構築	2	2
		ネットワーク力	1	2		子ども理解 個の教育的ニーズに応じた指導支援	2	3
	マネジメント力	1	2	交流及び共同学習		1	2	
② キャリア、校内での役割、高めたい資質・能力など 支援学校に勤務して3年めになる。これまでは初任者研修などを通じ、様々な分野について基本的なことを学んできた。 また学校では先輩の先生方に従って職務に当たってきた。これからは、支援教育の専門性を高め、子ども理解の方法を集中して学んでいきたい。 また、支援教育のための校内外のネットワークの強化にも積極的に関わられるようになりたい。								
③ 中・長期の見通し ◆ 今後3年間程度で以下の達成をめざす (1) 支援教育の専門性を高める ・積極的に授業を公開するとともに他の教員の授業構想への助言に努める。 ・支援教育コーディネーターをめざす。 (2) 子ども理解と集団づくり ・子どもの特性に合わせた適切な関わりができるようになる。 ・様々な子どもの認知の特性に合わせた指導計画を立案できるようになる。 (3) 支援教育のためのネットワーク構築 ・校内における支援体制のコーディネートができるようになる。 ・子どもの一人ひとりの教育的ニーズに応えるため、関係機関との連携を進める。								
④ 今年度の研修目標（短期） ◆ 支援教育の専門性 ・知的障がいの特性を学ぶ。 ・知的障がいのある児童・生徒の指導方法を学ぶ。 ◆ 支援教育のためのネットワーク構築 ・連携会議に参加して、連携体制のあり方を学ぶ。 ・地域支援のあり方を学ぶ。						受講予定の研修等 ・府立学校インターメディアイトセミナー ・特別支援学校教員免許状認定講習（8月） ・〇研修（〇月）		
⑤ 成果と課題、次年度に向けて（年度末に記入）								

『OSAKA教職スタンダード』の現状より1～2段階上位に到達することを中・長期目標としている。

左記の目標に合致する研修やセミナーをピックアップ（別途、受講手続きを行う。）

上記の中・長期目標から、今年度重点的に取り組むことを取り上げる。